

ボートレース福岡経営計画 第2回検討委員会議事録 要旨

1 開催日時

令和7年11月4日（火）14時00分～15時00分

2 開催場所

ボートレース福岡

3 出席者

委員：

合力 知工（福岡大学商学部経営学科 教授）
川原 武浩（株式会社 ふくや 代表取締役社長）
中川 久美（福岡観光コンベンションビューロー 観光事業部長）
古賀 竜介（古賀公認会計士事務所 代表（公認会計士））
吉川 正弥（全国モーターボート競走施行者協議会 総務部企画財政課長）
大和 珠未（BOAT RACE 振興会施行者総合支援部施行者支援チーム マネージャー）

福岡市（事務局）：

経済観光文化局ボートレース事業部長
経済観光文化局ボートレース事業部経営企画課長
経済観光文化局ボートレース事業部開催運営課長 ほか

4 傍聴人

1名

5 議題

ボートレース福岡経営計画「経営理念」「主要施策」「事業計画」について

6 配布資料

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 配席表
- ・ 資料1 ボートレース福岡経営計画「経営理念」「主要施策」「事業計画」について
- ・ 参考資料 ボートレース福岡に関するアンケート調査

7 議題(要旨)

(1)ボートレース福岡経営計画「経営理念」「主要施策」「事業計画」について

【事務局】資料1「アンケート調査結果概要」「ボートレース福岡の課題整理」の説明。

【委員】来場者アンケートについて、調査日が日曜日と祝日となっているが平日との差はどのようなものなのか。

【事務局】一般的に若年層は平日働いていることが多いため、平日にアンケート調査を実施した場合、若年層の意見が少なくなるだろうと考え、今回平日での調査は行わなかった。

【委員】土日を中心に若年層を増やしたいという意向であるということか。平日も実施した方がよかったのではないか。

【事務局】平日仕事をしている方は電話投票を利用していると思われるので、別に実施したWebアンケートでそのような方の意見が反映されているものと考えている。

【事務局】資料1「第3章 経営方針」の説明。

【委員】経営理念の「福岡市財政への持続的な貢献」という部分は施策体系図のどの部分に該当するのか。

【事務局】主要施策5の「2社会貢献についての広報」という中で、関連事項としてあげている。繰出金の目標額については、第5章で記載することとしており、次回の検討委員会でお示しする予定。

【委員】第5章だけでなく、施策体系図にも追加できないかを検討してもらえればと思う。

【委員】経営理念について、「市民に開かれた～」という表現だと、来訪者やインバウンド等の観光客は含まれていないように感じる。

【事務局】インバウンドについては、第4章の事業計画の中に記載しているが、経営理念の中では特段触れていない。市民だけでなく、様々な方に来ていただきたいという思いはある。

【委員】「市民や観光客に開かれた～」とした場合、焦点がぼやけてしまうという懸念があるのか。

【事務局】経営理念の後段「市民生活の質の向上」という市民は福岡市民を指しているが、冒頭の「市民に開かれた～」の「市民」は福岡市民だけでなく、広く一般市民を指している。経営理念の中に「観光客」を含めることは難しいと考えているため、理念においては「市民」という言葉を使い、取組みの中で観光客向けの対応を具体的に記載したい。

【委員】多様なニーズに応える必要もあるので、検討いただければと思う。

【事務局】資料1「第4章 事業計画」の「主要施策1」の説明。

【委員】今後、高齢者層に向けた集客イベントは何か考えているか。

【事務局】選手に関する発信やピット観戦ツアー等、ボートレースを長年楽しんでくださっている方向けのイベントを展開したい。

【委員】高齢者向けの初心者教室は実施しているのか。

【事務局】現在、初心者教室は月1回程度開催している。様々なジャンルのイベントとコラボした初心者教室を開催しており、様々な客層に参加いただいている。

【事務局】退職し、金銭的にも時間的にも余裕のある高齢者にもボートレースを楽しんで欲しいと考えているが、レース場内でイベントを開催しても、来場したことのない方にはなかなか届かない部分もあるので、レース場外でPRする必要性を感じている。そうしたことから、今年度、福岡市が主催する高齢者向けイベントに初めてブースを出展する予定としており、こうした取組みを今後も進めていきたい。

【委員】キャッシュレス投票の利用促進というのは具体的に何か。

【事務局】電子マネーに現金をチャージして、舟券を購入できるキャッシュレスカードを発行しており、ポイントが貯まると舟券購入やグッズと交換できる等の利点がある。

【委員】クレジットカードで舟券の購入はできないのか。海外からの観光客はクレジットカードが利用できた方がよいのではないか。

【事務局】ギャンブル依存症対策との兼ね合いもあり、業界として他場も含めクレジットカード導入ができない。

【委員】売上の維持・向上について、KPIの設定は行わないのか。

【事務局】現行の経営計画ではKPIの設定がなされていないが、次期計画ではKPIを設定したいと思っている。次回の検討委員会でお示ししたい。

【事務局】資料1「第4章 事業計画」の「主要施策2」「主要施策3」の説明。

【委員】主要施策3「1 競技棟の建替え」「2 計画的な施設整備と維持管理」について、いわゆるストックマネジメントを作るということか。

【事務局】アセットマネジメント実行計画を策定しており、その計画に基づき施設・設備の更新等を進め、適切に維持管理していく。競技棟の建替えについては、今後の検討事項として、まずは基本計画を策定する予定としている。

【委員】競技棟の建替えについて、予算等は経営計画に記載する予定か。

【事務局】経営計画を策定する段階では具体的な事業費は算出できないため、記載する予定はない。

【委員】主要施策3「3 来場者目線に立った施設環境の改善」について、食堂の改善が全国的にも重要な課題だと考えている。光熱費や人件費の高騰により、食のク

オリティを維持しながら営業していくことが難しい状況にあるほか、レース開催日しか営業できないことも運営上の課題となっていると認識している。こうした状況を踏まえると、食堂の営業を続けること自体が困難な面もあるのではないかと考えるが、現在の食堂の営業形態は施設貸出なのか、それとも委託なのか。

【事務局】施設貸出である。

【委員】施設貸出であるならば、事業者からも何らかの懸念が示されているのではないかと推察するが、今後、改善を行う予定はあるのか。

【事務局】食堂の位置や販売内容が利用者に分かりにくいとの課題があると認識しており、案内表示の改善などに取り組んでいきたい。

【委員】光熱費は業者負担であるのか。

【事務局】そのとおりである。

【委員】アンケート調査の結果からも、ボートレースに行ったことがない人は「グルメイベントやキッチンカー等の飲食関係のイベント」を求められているようだ。パークを開業するにあたって、そのような飲食関係の取組みは実施するのか。

【事務局】パーク内のにぎわい施設の中に、飲食店が入る予定となっている。

【委員】パークの利用者数の目標値はあるのか。

【事務局】事業者を公募した際の事業者からの提案によるとスケートボード場で年間45,000人来場するという想定で提案があっている。

【委員】海外からの観光客に向け、案内表示をわかりやすくする必要があるのではないのか。

【事務局】今年度、インバウンド誘客に向けた「インバウンド戦略」を策定する予定であり、その中で外部メンバーである在日外国人や観光関連事業者の意見もうかがっている。そこで出た意見を踏まえ、案内表示等についても分かりやすく改善していきたい。

【事務局】資料1「第4章 事業計画」の「主要施策4」「主要施策5」の説明。

【委員】主要施策4「2 顧客ニーズの把握と経営への反映」について、定期的なアンケートの実施とあるが、どのような方法で実施するのか。

【事務局】今回実施したようなアンケートを毎年実施したいと考えている。

【委員】アンケートの実施にあたっては、例えば実施時期の設定など留意すべき点があると思われるので、検討をお願いしたい。

【委員】来年度実施するアンケートの設問は同じものであるのか。

【事務局】基本的には経年による変化を観察したいと思っているので同じ設問を想定しているが、必要に応じて変える可能性もある。

【委員】アンケートの設計は非常に重要である。来場経験のない層を深掘りしても来場

促進にはつながりにくいため、まずは来場の可能性がある層を優先的に抽出し、その意見を改善に活かすべきである。そのためには、設問を工夫して回答者を適切に振り分けた上で、理由を尋ねるといった設計が重要である。統計を継続的に取ること自体には賛成だが、設問設計が不十分だと十分な効果が得られない恐れがあるので、検討いただきたい。

【事務局】 今回のアンケートを踏まえ、ブラッシュアップしたい。

【委員】 これを持ちまして第2回検討委員会を終了させていただく。ありがとうございました。